

国立研究開発法人水産研究・教育機構
平成 30 年度 契約監視委員会（第 2 回）議事概要

1. 日 時 平成 30 年 7 月 26 日（木） 14：00～16：00

2. 場 所 クイーンズタワー B 棟 7 階 D 会議室（神奈川県横浜市西区みなとみらい 2-3-3）

3. 出席者 委員長 蒲池 孝一 公認会計士
委 員 森 哲哉 公認会計士
委 員 苑田 浩之 弁護士
委 員 鈴木 孝 (研) 水産研究・教育機構 監事
委 員 檜山 義明 (研) 水産研究・教育機構 監事
(研) 水産研究・教育機構事務局
※ 林委員は欠席

4. 議題 ①平成 29 年度第 4 四半期の契約実績及び入札等に関するアンケート調査結果
②公益法人への支出に関する見直し状況
③平成 29 年度第 4 四半期の契約の抽出案件
④その他

5. 議事概要

・議題①平成 29 年度第 4 四半期の契約実績及び入札等に関するアンケート調査結果

平成 29 年度第 4 四半期の契約実績、競争性のない契約及び一者応札・応募の類型別内訳、類型別の平均応札者数及び平均落札率、アンケート調査の結果と、それを踏まえた入札改善策などについて、事務局から資料に基づき説明があった。

○研究用機器類の平均落札率が高いのはなぜか。

→研究用機器類は、ほとんどが特殊な機器等で、それらは需要が低いこともあって大幅な値引きがされないことが多く、どうしても落札率が高くなってしまおうと思われる。

・議題②公益法人への支出に関する見直し状況

平成 29 年度における公益法人への支出の状況と、点検・見直し結果について事務局から説明があり、審議を行った。

水産研究・教育機構広報誌等制作・配布業務（公益社団法人日本広報協会）、日本周辺域の水生生物及び海底土中の放射性核種分析業務（公益財団法人日本分析センター）のいずれについても、今後十分な公告期間の確保、声かけ等に努めるとともに、引き続き契約監視委員会に公益法人の契約案件を報告し、点検を受けることとされた。

・議題③平成 29 年度第 4 四半期の契約の抽出案件

平成 29 年度第 4 四半期に締結された契約の中から委員により抽出された 10 件の契約内容について事務局から説明があり、それぞれ審議を行った。各案件についての質疑応答は以下のとおり

(競争性のない随意契約)

漁網監視装置オッター間隔深度センサー修理業務（水産大学校）

○装置を導入する際に保守等を含めて契約を行うという観点はなかったのか。将来を見据えた契約方法の検討をお願いしたい。

→平成 19 年に装置を導入した当時は、保守等を含めて契約するという観点はなかった。今後は、そういった観点を含めて検討とすることとしたい。

○本体購入費用が資料等に追記されていると、修理費用と比較できる。今後検討してほしい。

(競争性のない随意契約)

I C P 質量分析装置修理業務（水産大学校）

○予定価格の参考とするために業者から提出を受けた見積書と、契約に当たって当該業者から提出のあった見積書のナンバー等の内容が同じであるが、問題ないか。

→別個の目的で徴収したものであり、特に問題ない。

(高落札率)

2～3 月分船舶用重油（塩釜港）（本部総務部船舶管理課）

○過去の契約監視委員会でも審議した案件だが、今回、審議案件として抽出したことに特別な理由があるのか。

→（委員長）特段の理由はない。

(一者応募・高落札率)

超音波発信機外1点（開発調査センター）

○取扱可能業者が1者のみであれば随意契約にするのが合理的とも思われるが、特に公募とした理由は何か。

→事前に調査した限りでは、本機器を取扱可能な者が1者しか把握できなかったが、他に取扱可能な業者が存在する可能性も有ると判断し、公募を行った。

(高落札率)

ミズレンケツカンゴム外94点（国際水産資源研究所）

○購入時期が年末年始となっているが、この時期しか対応できなかったのか。

→本件は平成 30 年度の船舶定期検査等に使用する部品を購入したものである。納入に時間がかかる部品もあるため、この時期に契約する必要があった。

(一者応札)

中央水産研究所高圧進相コンデンサ等更新工事（中央水産研究所）

○本件更新による効果はどのようなものか。

→位相相殺による力率の改善により、電力の有効利用や電気料金軽減などの効果が見込まれる。

(2年連続一者応札・高落札率)

「日本近海における混獲生物調査」に係る用船（国際水産資源研究所）

○落札者は前年度と同じか。複数年契約による対応はできないのか。

→落札者は前年度と同じ。本件は、国の単年度委託事業であるため、複数年契約を行うことはできない。

○用船を受注することのメリットを宣伝し、複数者の入札参加に向けた努力を継続するようお願いしたい。

(一者応札・高落札率)

文書管理システム構築、データ移行並びに保守業務（本部総務部契約課）

○費用の大半はハードウェアの調達費か。

→そのとおり。

(2年連続一者応札)

マルチビームソナーのデータ解析処理業務（水産大学校）

○改善方策として、解析ソフトウェアを所有しない業者がレンタル等で対応できるよう公告期間を長く設定するとしているが、そうすれば対応できる者がいるのか。

→一般に販売されているソフトウェアであり、対応できる者がいる可能性はある。近隣に限らず、引き続き参入者拡大の努力を行いたい。

(一者応札)

廃薬品等処理業務（水産大学校）

○参入者が少ないのは、専門性が高い業務であるからか。声掛けは行っているか。

→業務期間がタイトであったため、対応可能な者が少なくなったと考えられる。今後は参入者が拡大するような日程設定を行いたい。

・議題④その他

事務局より、契約監視委員会の第4回委員会の開催時期について、これまでの3月末開催を2月末開催に変更すること、これに伴い、第3四半期に締結した契約案件の審議を、これ

までの第4回委員会から翌年度第2回委員会に変更することが提案され、委員会の了承を得た。

次回の委員会は、平成30年度第1四半期に締結した契約が審議対象になり、10月下旬の開催を予定していること、8月中に事務局から各委員に日程調整の連絡をする予定であることについて事務局から連絡があった。